



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 41

発行 平成28年2月12日(金)

文責 校長 長嶺 吉浩



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒(知)
広い視野をもち、思いやりのある生徒(徳)
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒(体)



進行する議長

～生徒会総会、そして校旗の引き継ぎ～

2月9日(火)6校時に生徒会総会が行われました。まず、今年度の生徒会のテーマである「挑戦～一歩前へ進もう～」の反省が報告されました。テーマの下、1年間のすばらしい活躍が思い返されます。続いて奉仕部や部活動から反省があり、来年度への申し送り事項とし改善点が述べられました。続いての質疑では、生徒会長佐藤 瑠さんがあいさつに述べたような、今までの3年生中心の生徒会を引き継ぎ、課題を解決していこうとする意欲が表れていました。生徒会総会終了後は校旗の引き継ぎが行われ、「立派に先輩方の後を引き継ぎます」という力強い言葉で生徒会長がしっかりと校旗を受け取りました。校旗の引き継ぎで先輩から後輩への代替わりが行われました。これから1・2年生の生徒会での活躍が期待されます。



校旗の引き継ぎ



奉仕部への質疑応答

～期末テストへ向けて～



予想問題の作成者(2年生)

2月19日(金)・22日(月)は1・2年生の期末テストになります。折しも県立高校Ⅱ期試験も3月上旬に迫っており、校内が学習に向かって一体となる時期です。運動も学習も取り組んでやっただけ力が付く時期があります。テスト終了後に「勉強できる時間はあったのにやらなかった」という反省を見ることがあります。力をつけなくては試合もテストも思うように結果を出せません。今回の期末テストは生徒会学習文化部が手作りの予想問題を作り配付しました。みんなで勉強し合う利点の一つが、自分の気づかない弱点を知ることができることです。友だちの作ったテストが簡単に解けるようなら基礎が仕上がっている状況にあります。解けない所はできるようになるまで繰り返す必要があります。工夫して学習に取り組んで、目標とする結果を得てほしいと願っています。

～自分手帳～

12月に配付した自分手帳はご家庭において活用されているでしょうか。22日(月)は学校に持参し健康状況を振り返ります。



田澤先生講演より(竹林No22詳細)

～人間の記号化の蔓延(まんえん)前編～

人間の記号化がいろんなところで起こっています。この右上は小学校6年生の描いた「人間の記号化」の絵です。(※絵の掲載はありません)残りの3枚は25歳前後の大人が描いた「人間の記号化」の絵です。どういふ大人でしょうか?よい学校を出て、よい会社に入ったが、そのとたん「引きこもる」行動をとった大人です。この前段階が、社会に出ることができない問題「ニート」です。この3人は、会社に入ったけれども会社に来ない、つまり大人社会で働けない社会力がない人が描いた絵です。家族とは「共に食事をするもの」という意味があり、一家団欒(いっかだんらん)とは「家族が丸くなって座り、お互いの顔を見ながらお話しする、楽しい時間を過ごす」という意味があります。この情景が消えている現代社会があります。家族がこの情景を取り戻すだけで、いろいろな問題が解消できると思います。しかし食卓の中にテレビやスマホなどいろんな電子機器が侵入してくると、この家族の時間が破壊されます。特に、現代の共働き時代、少子化時代、寂しい食卓に座っている子どもがたくさんいます。その食卓の人物の「記号化」が蔓延し、膨れ上がっています。～次回に続く～

